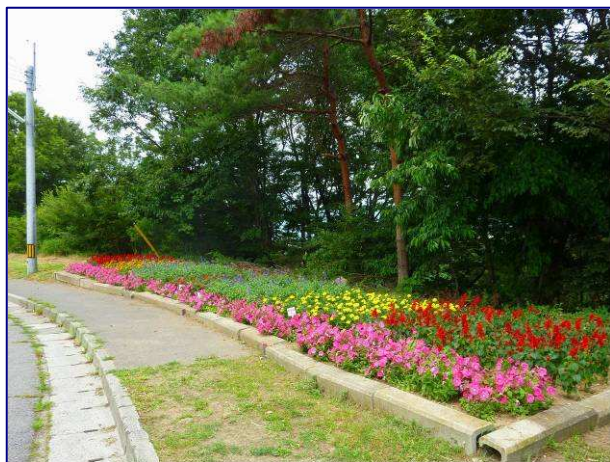


「花の種銀行」便り

第23号

H24.3.1



〔団体(50㎡未満)の部〕
最優秀賞 富士見台みどりの仲間



〔団体(50㎡以上)の部〕
最優秀賞 下本郷地区花と緑の街づくり協議会



〔個人の部〕
最優秀賞 中島 明 宅



〔学校の部〕
最優秀賞 上田市立塩川小学校

第5回 上田市花と緑のまちづくりコンクール

昨年夏、第5回上田市花と緑のまちづくりコンクールが開催されました。

ここ数年、厳しい暑さやゲリラ豪雨が当たり前のようになってしまいましたが、昨年はお盆明けに1週間ほど雨が続き、気温もグンと下がりました。どちらの花壇も手入れに大変なご苦労があったようです。今回は下記の方々が入賞されました。

なお、団体(50㎡以上)の部で最優秀賞に輝いた下本郷地区の花壇は、花の種銀行の会員にもなっていて、全ての苗(年間7,000本(年2回、3,500本ずつ))を種から育てています。

(各部門とも左より、**最優秀賞**、**優秀賞**、**奨励賞**の順に記載・敬称略)

- 団体(50㎡未満・プランター)の部・・・富士見台みどりの仲間 / 荻窪ビーンズの会 / 大畑自治会花づくり推進部
- 団体(50㎡以上)の部・・・・・・・・・・下本郷地区花と緑の街づくり協議会 / しなの木会・上沢子供会 / 藤原田花と緑の会
- 個人の部・・・・・・・・・・・・・・・・中島明宅 / 和田幸雄宅 / 黒澤朝男宅
- 学校の部・・・・・・・・・・・・・・・・塩川小学校 / 第五中学校

春まきの花を育ててみましょう

1、種まきの時期(気温について)

一般に発芽に必要な条件は「水」「酸素」「温度」です。どれか一つ欠けてもうまく発芽しません。

上田地域では3月下旬ころから木々が水を吸い上げて活動を始めますが、この頃の土の温度は10℃くらい。発芽適温が15～20℃のものだと4月に入ってから、20～25℃と高いものについては5月に入ってからが種まき時期と言えます。(※屋外で管理する場合。それぞれの発芽適温は種の一覧に記載してあります。)

注意しなければいけないのは4月～5月上旬の遅霜です。夕方6時の気温が10℃以上あれば一応霜の心配はありませんが、種まき後は最低気温(遅霜)にも気をつけながら管理してください。

3月			4月			5月			6月			7月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬

最低温度 0℃以下 | 最低温度 0℃以上 →

← 遅霜の心配 →



種まき

発芽

ポット上げ

植え込み

2週間

4週間

4週間

2、土と肥料について

①種まき・ポット上げに適した土

市販の培養土・プランターの土。(水をよく吸収するが乾きやすい、保肥力がない)

肥料分が少しだけ入っているので、短い期間だけ使用するもの(種まき等)に適している。

②プランターや鉢(植えつけ)に適した土

赤玉土と腐葉土を6:4で混ぜ、被覆肥料を加えた土。(水はけがよく、保水力・保肥力もよい)

良い腐葉土が無ければ、培養土等を同じ分量で混ぜてもよい。

・**腐葉土**…広葉樹の葉を腐熟させたもので、水はけがよく、肥料分は無い。黒くて葉の形状が残っていないもの(触ってサラサラしたもの)がよいが、無ければ購入して1年ほど寝かしておく。

・**被覆肥料**…コート肥料・緩効性肥料とも呼ばれる。徐々に溶け出しゆっくり長く効くので、最初のうちは効き目が弱い場合も。3～4ヶ月、長期間にわたって花を咲かせたい時の基肥に使う。

③花壇の土

完熟**堆肥**(土壌改良、水はけがよい、肥料分はごくわずか)などを混ぜて使用する。土と混ぜて1～2週間ほどなじませてから植える。

未熟なもの(臭うもの)を使用すると、発酵熱やガスなどで植物を傷めることがあります。

堆肥のみでは肥料分が足りない場合は、基肥に化成肥料(被覆肥料でもよい)を入れるか、生育状況を見ながら追肥を行う。

④肥料

肥料の袋に書かれている「8-8-8」などの数字は、窒素(N)-リン酸(P)-カリ(K)の成分(%)を表します。8-8-8だと、100g当たりそれぞれの成分が8gずつ入っていることとなります。

「窒素」は植物のからだを大きくする、「リン酸」は花つきをよくする、「カリ」は根や果実の生長のために使われます。「からだだけ大きくなって花がつかない」という場合は、窒素過多が原因かもしれません。



3、種まき・ポット上げ

●細かく揃った土を容器の深さの半分(※)ほど入れ、土を平らに均してよく湿らせておく。そこに種をまき(点まき、筋まき、バラまき)、土かバーミキュライトで1cmくらい覆い(好光性は薄めに、嫌光性は厚めに覆土する)、軽く押さえる。被せた土が落ち着く程度に水(※)をやり、1~2週間ほど(発芽するまで…遅いもので4週間ほど)乾かさなないようにかん水する。

※種まきに必要な土の量は、7cmくらいの深さがあれば十分です。

※細かい種については、上から水をかけると流れてしまうので、腰水(底面吸水)か霧吹きなどで管理します。

●子葉と本葉、合せて4枚の葉っぱが出てきたらポット上げ時期。7.5cmのポリポットに、培養土に化成肥料を少量混ぜた土を入れる。かん水してから根を切らないよう苗をほぐし、植え込む。トレーなどに入れ、ポットの底が地面につかないようにする(ナメクジ対策)。乾いたらかん水。ポットの底から根が見えたらプランターや花壇に植え込む。

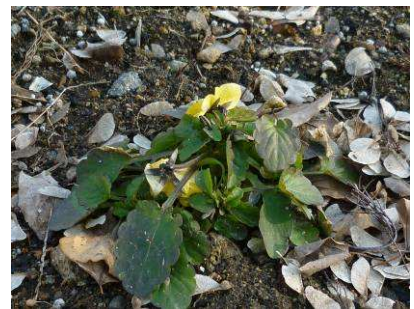
(種から育てる花づくり講習会より)

TOPICS

「種から育てる花づくり講習会」

講師に武田正男先生をお迎えし、昨年8月31日にパンジー・ビオラ編を開催しました。実際にパンジーやビオラの種まきをし、土づくりや冬越しの仕方などを教えていただきました。

参加された皆様は、花が咲く日が待ち遠しいことでしょう。



「花を育て隊」活動報告

10月14日にビオラのポット上げ作業を、11月9、10、15日に花壇への植え付け作業を行いました。上田城跡公園に植えていただいた苗も、冬の厳しい寒さを乗り越え、春には市民の皆様や観光に訪れる方々の目を楽しませてくれるはずです。

作業に参加して下さった皆様、ありがとうございました。

「花を育て隊」のボランティアは常時募集しておりますので、参加ご希望の方は電話、FAX、はがき等で公園緑地課までお申し込みください。作業日程をご連絡しますので、都合のよい日にご参加ください。

「緑のカーテン」

暑い夏を少しでも快適に、また節電対策として「緑のカーテン」に取り組んでみてはいかがでしょうか？

「緑のカーテン」と聞いてまず思いつくのは「ゴーヤ」でしょうか？それとも「ヘブンリーブルー」でしょうか？花の種銀行でも何種類か用意しておりますので、ぜひ御利用ください。

◎アサガオ、観賞用かぼちゃ、西洋アサガオ(スカーレットオハラ、ヘブンリーブルー)、花ゆうがお、風船かずら、ルコウソウ などです。

残念ながら花の種銀行には置いていませんが、ゴーヤ・キュウリなどウリ科の植物やつる性のマメ類なども緑のカーテンに適した植物で、収穫も楽しめます。

◎用意するもの(プランターでの栽培の場合)

- ・大きめ、深めのプランター→生育が旺盛なので水と肥料を切らさない(多くの土が必要)、支柱を立てたとき倒れない
- ・土、肥料→P2の土と肥料参照
- ・ネット、支柱→倒れないよう必ず固定する



お知らせ

春まきの種、貸し出しています

「花の種銀行」では、春まきの種を各種取り揃えて皆様のお越しをお待ちしております。
種から育てることは苦労もありますが、咲いたときの喜びは格別です。
種の種類につきましては「平成24年 種の種類一覧」をご覧ください。

種から育てる花づくり講習会【基本編】

日 時	平成24年3月15日(木) 午前9時30分～2時間程度
場 所	上田市中央公民館 2階 第一会議室
講 師	武田正男さん(上田市農業バイオセンター職員)
申込み	3月12日(月)までに公園緑地課へ
内 容	上田に適した花づくり(気温・土・肥料)について、花の特徴について
その他	持ち物:筆記用具、駐車場:「健康プラザうえだ」を御利用ください

返却・寄贈していただく際のお願い

次の方に貸し出す際の情報として、花の色や草丈などの特徴を、また山野草など原種・野生に近い種類については種まき時期をお聞きしていますので、御協力をお願いします。
(例:ヒマワリ…色(黄・赤など)、背丈(高い・ミニなど)、その他(大輪・小輪、一輪・分枝)など

花の種銀行の担当になって3年がたちます。

実家が花農家ということもあり、農学系の学校を出て市役所に入りましたが、卒業して15年以上経過すると、忘れてしまったことばかり…

また、知らなかったことも多くて、今は手もとにある図鑑やインターネットを見ながら、少しずつ勉強しなおしています。
(一応、花卉研というところでペチュニアをいじっていました。)

講習会での武田先生のお話は、長年の経験に基づいたもので、しかもこの地域に合った内容となっていますので、とても参考になります。

今年は種から育ててみようかと思っています。



~~~~ ご連絡・問合せ先 上田市役所 公園緑地課



TEL 23-5134/ FAX 23-8247

E-mail: koen@city.ueda.nagano.jp